

2021年5月28日

報道関係者各位

東急不動産ホールディングス株式会社

～東急不動産ホールディングスグループの温室効果ガス排出量削減目標～

## SBT 認定取得及び「Business Ambition for 1.5°C」に署名

国内デベロッパー初の SBT (1.5°C水準) の認定取得

東急不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：西川 弘典、以下「当社」）は、温室効果ガス (Green House Gas) 排出量削減目標において、SBT 認定 (1.5°C水準) 取得(※)及び「Business Ambition for 1.5°C」に署名し、東急不動産ホールディングスグループ（以下「当グループ」）一丸となって、温室効果ガス排出量削減に取り組むことを宣言いたします。

当グループの特徴は、中核会社である東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）が開発・運営する再生可能エネルギー発電所の非化石価値をトラッキング非化石証書等で紐付けすることで、当グループで発電した再生可能エネルギーを温室効果ガス排出量の削減に活用する点です。

なお、SBT (1.5°C水準) の認定取得は、国内デベロッパーで初の事例となります。当グループは、引き続き環境対応を進めて参ります。

※認定の範囲は Scope1・2 および Scope3 のカテゴリ 1・2・11。(当グループの Scope3 の排出量はこの3つのカテゴリが9割以上を占めています。) 2019 年度を基準年とし 2030 年度に▲46.2%達成するという目標。

SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



### ■ SBT (1.5°C水準) の認定取得

SBT (Science Based Targets) とは、世界の産業革命前からの気温上昇を 2°Cを十分に下回る 1.5°Cに抑えることを目指すパリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことです。当社は、2021年5月13日、UNGC (国連グローバル・コンパクト)、CDP、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) の4団体が設立した国際的イニシアティブ「SBTi (SBT イニシアティブ)」から SBT (1.5°C水準) の認証を取得しました。SBT (1.5°C水準) は 2021年5月1日現在で、世界で 396社、日本で 31社が認定を取得しています。



## ■ Business Ambition for 1.5°Cに署名

「Business Ambition for 1.5°C」は、UNGC、SBTi (Science Based Targets initiative)、We Mean Business の3者が主導し、企業に対して気候変動対策を設定するよう要請する共同書簡です。2021年5月10日、当社は、産業革命前からの気温上昇を2°Cではなく1.5°C未満に抑えることを目指し、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとする目標を設定する「Business Ambition for 1.5°C」に署名しました。2021年5月1日現在で、世界で537社、日本で20社が署名しています。

### (参考) 温室効果ガス (Green House Gas) 排出量の概要

Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope3: Scope1、Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連するサプライチェーン上の排出)、上流と下流を合わせて15のカテゴリがある。

なお、当社の認定の範囲は Scope1・2 および Scope3 のカテゴリ 1「購入した製品・サービス」・カテゴリ 2「資本財」・カテゴリ 11「販売した製品の使用」となっています。当グループの Scope3 の排出量はこの3つのカテゴリが9割以上を占めています。

## ■ 当グループの Co2 排出量削減への取り組み (一部)

### 【東急不動産ホールディングス】

- ・再生可能エネルギー事業の推進

<https://tokyu-fudosan-hd-csr.disclosure.site/ja/themes/25>

### 【東急不動産】

- ・必要電力、再生可能エネルギーに100%切り替え 「RE100」を2025年に達成へ～自社発電施設を積極活用、目標を25年前倒し～

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2021/001204.html>

- ・渋谷ソラスタでは、CASBEE (建築環境総合性能評価システム) 最高 S ランク、DBJ Green Building 認証5つ星 (five stars) を取得しています。

<https://www.tokyu-land.co.jp/news/2019/000977.html>

## ■ 長期ビジョンで取り組むテーマと、貢献する SDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2021年「長期ビジョン2030」において「WE ARE GREEN」をスローガンに、価値を創造し続ける企業グループを目指し、グループの強みを活かして、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来をつくることを宣言しました。その実現のために、私たちが重視する社会課題から抽出した6つの取り組みテーマ (マテリアリティ) を掲げています。また、これらの取り組みを通じて、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献すると考えます。

本計画における取り組みテーマ (マテリアリティ) 及び SDGs は以下の通りです。





環境

## サステナブルな 環境をつくる

環境先進企業として、気候変動などの地球規模の課題に  
取り組み、脱炭素社会・循環型社会をつくります

《貢献するSDGs》 No.7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、No.13「気候変動に具体的な対策を」



すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

